令和元年度　上半期の教育活動を振り返って

福島県立湖南高等学校長

向暑の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、本校では、今年度の重点努力目標として、「生徒一人ひとりを大切にし、人間性の育成や能力の伸長と、地域社会から信頼される学校づくり」を掲げ、教職員一同、目標の実現に向けて努力しているところでありますが、これまでの教育活動の検証を行うために、上半期の教育活動を振り返り、全校生徒及び教職員を対象にアンケート調査を行いました。そのアンケート調査結果は、以下のとおりですので、ご参照ください。

今後は、このアンケート調査結果から見えた課題の克服に向け、教職員一同、努力して参りますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いします。

【上半期　学校評価アンケート結果】

			生徒（%）			教員（%）		
			肯定的評価（A＋B）	昨年度上半期	傾向	肯定的評価（A＋B）	昨年度上半期	傾向
	1	学校生活は充実しているか	**85.1**	82.5	―	**100.0**	94.1	↑
重点1	2	授業は分かりやすいか	**79.3**	86.0	↓	**100.0**	81.3	↑
	3	朝の学習により学力は向上したか	**75.9**	58.8	↑	**78.6**	87.5	↓
	4	宿題や課題は提出したか	**74.7**	―	―	**20.0**	―	―
	5	家庭学習に取り組んだか	**71.3**	57.9	↑	**6.7**	12.5	↓
	6	読書の習慣がついているか	**31.0**	22.8	↑	**57.1**	58.8	―
重点2	7	LHRや総合的な時間には積極的に参加したか	**79.1**	―	―	**100.0**	―	―
	8	進路に関する行事がなされたか	**87.4**	84.2	―	**92.9**	87.5	↑
	9	個に応じた進路指導がなされたか	**69.0**	79.6	↓	**100.0**	75.0	↑
	10	生徒は自己実現に努めたか	**62.8**	―	―	**85.7**	―	―
	11	生徒は資格取得に取り組んだか	**52.3**	―	―	**78.6**	―	―
重点3	12	きちんとした服装や頭髪ができたか	**79.3**	81.6	―	**86.7**	70.6	↑
	13	きちんとした挨拶を行っているか	**78.2**	86.8	↓	**53.3**	58.8	↓
	14	学校の決まりや社会のルールを守ったか	**92.0**	83.3	↑	**73.3**	58.8	↑
	15	部活動や委員会活動等に熱心に取り組んだか	**85.1**	55.9	↑	**46.7**	43.8	―
	16	毎日、清掃活動に取り組んだか	**82.8**	78.1	―	**92.9**	76.5	↑
重点4	17	『湖南高校だより』『「保健だより』を渡しているか	**54.0**	48.2	↑			
		『湖南高校だより』『「保健だより』が学校の状況を伝えているか				**100.0**	100.0	―
	18	ボランティア等の行事に積極的に参加したか	**76.2**	―	―			
		ボランティア等の行事は地域に貢献しているか				**100.0**	―	―
	19	自分の関わる地域に興味・関心を持っているか	**67.8**	―	―			
		生徒は、自分の関わる地域に興味・関心を持っているか				**46.7**	―	―
	20	自分の関わる地域を理解しているか	**56.3**	―	―			―
		地域理解のための機会づくりをしているか				**86.7**	―	―
	21	信頼される学校作りに努めているか				**93.3**	94.1	―

※『傾向』の欄は、昨年度と比較して、5%以上増減があったものを矢印で表示している。　　※令和元年7月実施

【アンケート結果分析】

○ 生徒の85.1％が学校生活に満足しているとの評価であり、充実した学校生活を送っていることが窺える。

○ 生徒の約8割は授業がわかりやすいと感じている。

○ 朝の学習で学力が向上したと感じる生徒の割合が昨年度同期比約17ポイント上がった。朝の学習の手法を見直したこと、授業内容が充実していることによるものと考えられる。

○ 家庭学習への取組に関しては生徒の肯定的評価は71．3％と昨年度同期比13．4ポイント上昇した。家庭学習への意識付け等、教員の日常指導が有効であったと考えられる。ただし、教員にとっては、6．7％と低評価であり意識の違いが見られる。

○ 読書の習慣化については昨年度より割合が増加したものの、生徒の読書離れが課題である。

○ LHRや総合的な学習の時間等への参加、進路関連行事の取組については、生徒、教員ともに高評価である。

○ 個に応じた進路指導に関して、教員評価100％に比して生徒評価は約7割である。生徒の特性や発達段階に応じた指導を継続していく必要がある。

○ 約5割強の生徒は資格取得に取り組んでいる。

○ 生徒、教員ともにきちんとした服装や頭髪ができていると感じている割合が高い。

○ 生徒の約8割が、きちんとした挨拶をしていると感じている。教員評価の割合（53．3％）から、生徒と教員の意識の違いが見られる。

○ 生徒の85．1％が部活動や委員会活動等に熱心に取り組んでいると感じている。教員評価の割合（46．7％）から、生徒と教員の意識の違いが見られる。

○ 毎日の清掃活動については生徒評価が昨年度同期比4．7ポイント上昇、教員評価が同16．4ポイント上昇しており、清掃に対する意識と行動の改善が見られる。

○ 「湖南高校だより」「保健だより」を保護者へ渡している生徒が54％である。保護者への周知の工夫が必要である。

○ 自分の関わる地域に興味・関心を持っている生徒が67．8％に比して、教員は、生徒が自分の関わる地域に興味・関心を持っているとはあまり捉えていない（46．7％）。

○ 教員は地域理解のための機会づくりをしている（86．7％）が、生徒は自分の関わる地域をあまり理解していない（56．3％）。授業や行事を通して身近な地域の良さや魅力に気づくことができる場の工夫が必要である。

【下半期に向けて】

今回のアンケート結果を踏まえ、次のような点を重点事項として取り組んでいくことを考えております。

⑴ 生徒の家庭学習習慣の更なる定着を図るために、課題を出すとともに学校配布の手帳に学習時間を記録させ、自己管理と自主性を促す。

⑵ 図書委員を中心に学校図書の整備を行い、読書に対して興味関心を持つことができる工夫をする。

⑶ 授業や学校行事を通して、学校への愛校心を育て、自分の関わる地域をより理解することができる工夫をする。

⑷ 読みやすい、親しみやすい広報紙にするために工夫する。

⑸ 保護者へ文書が渡るように生徒への指導徹底を行うとともに、配布文書に関して、事前にメールで保護者へ通知をする。

【あとがき】

現在、湖南高校では令和２年度の１学級本校化とコミュニティ・スクールの準備をしています。また、今年度は１７名の新入生を迎え、生徒たちは毎日、元気に、楽しく学校生活を送っています。

さて、まもなく夏休みとなります。夏季休業中、学校では、生徒への進学や就職のための課外学習、学力アップ学習会などを計画しておりますので、お子様への積極的な参加促進をお願いいたします。

夏休みは、学校がある日常生活と異なり、生活のリズムが乱れがちになります。お子様が規則正しい生活を送り、この長期間の休みが有意義なものになるよう保護者の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。